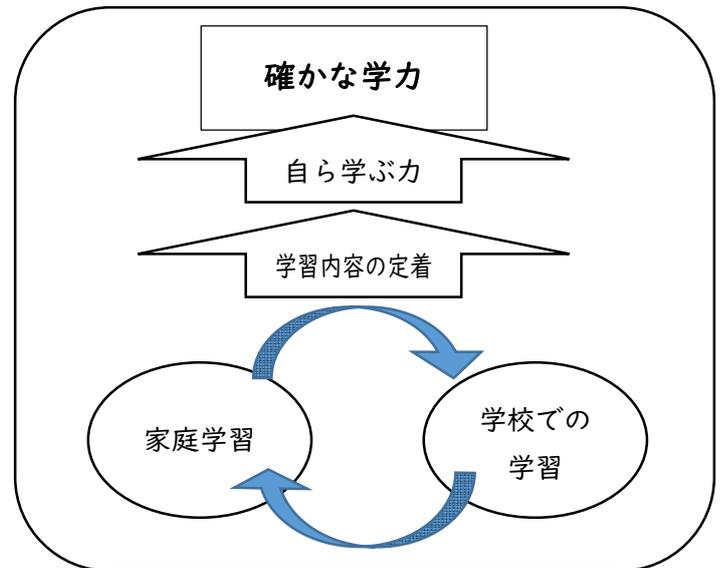


## 家庭学習の手引き

本校では、子どもたちが「わかった」「できた」を感じられる授業を行うとともに、基礎的・基本的な内容を繰り返し学習できるようにすることが、学力を支える基盤になると考えます。学校再開後も、子どもたちが学校と家の学習を両立させ、確かな学力を身に付けてほしいと考えます。そこで、「家庭学習の手引き」を作成しました。子どもたちの学力の定着のため、学校と家庭が連携できますよう、ご協力をお願いいたします。ご活用ください。

### 家庭学習の重要性

確かな学力を身に付けるためには、学校での学習に加え、家庭学習が重要であると言われています。学校での学習を復習するとともに、自分で関心をもったことや疑問を抱いたことについて調べたりすることを通して、基礎的・基本的な知識が定着するとともに、思考力が向上すると考えます。学習する習慣を築くうえで、毎日決めた時刻に決まった時間、継続して学習に取り組むことは重要です。



### 家庭学習の進め方

家庭学習を習慣化させるために、子どもと話し合い、家庭学習の進め方について学年に応じたルールを決めましょう。

#### 1 まず学校の宿題に取り組めます。

取り組んだことを認め、子どもをほめてあげてください。

#### 2 次に、自主学習に取り組めます。

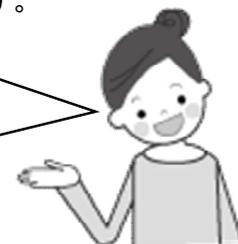
自主学習に取り組むことで、自ら学ぶ姿勢が育ちます。

自主学習の取り組み方は次のページを参考にしてください。

#### 3 次の日の準備を必ずします。

学習に必要な物を自分で準備することで、学習への意欲が高まります。

☆子どもにとってやる気の出る言葉かけ☆  
 ・よくできたね。・きれいに書けたね。  
 ・がんばったね。・自分からできたね。  
 ・毎日、続けられてすばらしいね。  
 ・そういうふう考えたんだ!すごいね。 など



## 家庭学習のポイント

学習習慣を身に付けさせ、家庭学習を進めるためには、帰宅後の生活にリズムをつくり、その中で学習の時間（決まった時間）と学習の場をつくるのが大切です。

### 小学生の家庭学習時間の目安は

時間の目安は、「15分×学年数」または「宿題以外に10分×学年数」と言われます。

1年生…15分（宿題以外に10分）	2年生…30分（宿題以外に20分）	低学年 10～20分程度
3年生…45分（宿題以外に30分）	4年生…60分（宿題以外に40分）	中学年 30～40分程度
5年生…75分（宿題以外に50分）	6年生…90分（宿題以外に60分）	高学年 50～60分程度

### 毎日同じ時間に

上記の時間が、1日のうちのいつなのかを定めることが大切です。毎日違うと、習慣になりにくくなってしまいます。「毎日同じ」というほうが気持ちが安定するお子さんが多くいます。

例) ○学校から帰ってすぐの時間      ○習いごとに出かける前      ○朝起きて朝食の前 など

家庭学習は毎日続けることが大切です。無理のない時間から始めて習慣づけ、徐々に目安となる時間に近づけていきましょう。

学習する習慣が身に付くことで、少しずつ  
学習時間を増やすことができたよ!



### できれば…次のことも

保護者の皆様もお仕事等でご多用のことと思います。できる範囲で結構です。

### そばにいていただく

家の方がそばにいてくださると子どもたちは安心して学習します。自分の部屋で一人で学習するより、居間・リビングや台所・キッチンのそばなど、家の方がいるところで行うほうが、がんばれる子どもがいます。

### 学校のことを聞いていただく

保護者や家にいる人に、学校での出来事や学んだことを聞いていただけると、子どもたちは学習内容を振り返ることができます。東京都の調査によると、「家の人と学校の出来事について話をしている子ども」ほど、学力調査の正答率が高い傾向にあったそうです。「今日は、どんなことがあったの？」や「ふ～ん、そうか。なるほど。」「そう思ったんだね。」など、共感的に話を聞いてあげてください。子どもらしい稚拙な考えや判断があるのは当たり前だと思って、まずはじっくりと聞いてあげてください。

## 各学年の家庭学習例

	学習の特徴	ポイント	取り組みたい家庭学習
低学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活に結び付いた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりしながら学んでいきます。</li> <li>○繰り返し練習することで力の付く学習内容が多くあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●毎日学習する習慣をつけましょう。</li> <li>●学習習慣・基本的な生活習慣を確立させましょう。</li> <li>●家の手伝いや自分で学習の準備をする習慣をつけましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎鉛筆を正しく持ち、書き順に気を付けて文字を丁寧に書く。</li> <li>◎姿勢や口の形、速さに気を付けて、声を出して音読する。</li> <li>◎たし算やひき算、かけ算の問題を解く。</li> <li>◎書いたり唱えたりしながら九九の練習をする。</li> </ul>
中学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新しく社会科、理科が加わり、学習内容が広がります。</li> <li>○資料集や国語辞典などを使い、自分で調べる学習が多くなります。</li> <li>○分数や小数など抽象的な内容を学ぶようになります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自ら学習に向かう意欲を育てましょう。</li> <li>●宿題の他に自主学習に取り組ませましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎書き順、読み、送り仮名に注意して漢字を練習する。</li> <li>◎国語辞典や漢字辞典を使い、言葉の意味を調べたり、その言葉を使って文章を作ったりする。</li> <li>◎早く、正確に解けるように、計算練習をする。</li> <li>◎料理で使う水の量や肉の量を比べたり測ったりするなど、長さ、かさ、重さの単位を生活と結び付けて理解できるようにする。</li> </ul>
高学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分で課題を見つけて解決していく経験を通して学び方や考え方を育てます。</li> <li>○筋道を立てて考える論理的な思考力や、抽象的なものの見方が求められます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分で学習を進める力を身に付けましょう。</li> <li>●苦手な教科にも粘り強く取り組めるようにしましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎偏（へん）や旁（つくり）を意識し、字形に気を付けて漢字練習に取り組む。</li> <li>◎問題を繰り返し解き、計算の仕方や流れを理解する。</li> <li>◎公式や図形の性質などを確実に覚える。</li> <li>◎授業で学習した英文を声に出して読む。</li> <li>◎学校で学習したノートを自分で再度まとめ直す。</li> </ul>

※低学年でも、音読する回数や、計算練習の問題数など、自分で決めていくことで、主体的に学ぶ力がついていきます。

※次のページの「自主学習の取り組み方」を見て、自主学習で行う課題を決める際の参考にしてください。

## 家庭学習強化旬間

10日間程度の家庭学習強化旬間を設定し、子どもたちが、家庭学習に力を入れて取り組むよう、学校で働きかけていきます。ご家庭でも、子どもたちを励ましていただけますようお願いいたします。詳細は後日お知らせします。



## (1) 自分の取り組みたい課題を自分で決める。

かだい した れい さんこう  
課題は、下の例を参考にしましょう。

いろいろなコースのものに取り組みましょう。もちろん、書かれていないことに挑戦するのもよいです。

### 【どんどんコース】

べんきょう ちから  
\*勉強したことをもとにして、力を  
**どんどん**のばしていくコースです。



たとえば・・・

- (国語)  
・読んだ本の感想を書こう。
- ・新聞記事を要約し、自分の意見をまとめよう。
- ・テレビのニュースを見て感じたことをまとめよう。

- (算数)  
・学習したことを使って、新たな問題を作ろう。

- (社会)  
・歴史上の人物図鑑を作ろう。
- ・都道府県図鑑を作ろう。
- ・東京都や中野区しょうかいマップを作ろう。

- (理科)  
・空や自然(植物や生き物)の観察記録を書こう。

など

### 【しっかりコース】

べんきょう  
\*勉強したことを、**しっかりと**  
身に付けさせるコースです。



たとえば・・・

- (国語)  
・習った漢字をもう一度練習しよう。
- ・習った漢字を使って、言葉集めをしよう。
- ・今日の出来事を日記に書こう。

- (算数)  
・習ったところの計算ドリルや教科書の問題をもう一度取り組もう。
- ・東京都ベーシックドリルに取り組もう。

- (社会)  
・都道府県を何度も書いて覚えよう。

など

### 【ずんずんコース】

じぶん  
\*自分が気になったことを**ずんずん**  
学んでいくコースです。



たとえば・・・

- (国語)・ローマ字が得意になるために、好きなキャラクターの名前をローマ字で書こう。
- (算数)・定ぎの使い方が上手になるために、定ぎで直線を引ながら絵をかこう。
- (社会)・家にある食べ物かどこから来ているかを調べて、地図帳にまとめよう。
- (理科)・昨日の月がきれいだったから、昨日の月の形を記録しよう。
- (音楽)・好きなアーティストの曲の歌詞を書いて、気持ちをこめて歌えるようになろう。
- (図工)・好きなアニメのキャラクターをお手本を見なくてもかけるように、特ちょうを見つけながら書こう。
- (家庭科)・家にいる間に、快適にすごせるように、自分のスペースのかたづけ方を考えて、かたづけよう。
- (体育)・遠くまでボールを投げられるように、タオルを使って投げるすぶりを、200回しよう。

## (2) 課題に対して

めあてをたてる。

その時間、何をがんばるのかめあてを決めます。ノートに書いても、自分の心にしまっておいてもよいです。

## (3) 課題に取り組む

- ・楽しみながら課題に取り組みましょう。
- 書く課題は、自由帳や使っていないノート、自主学習ノートなどに取り組みます。
- ・写真や動画なども使って、自分の学びをするのもよいです。

## (4) 取り組んだ課題に対して自分で評価をする。

## (5) ふりかえりをする。

いつもの課題と同じように、「◎・○・△」で自分を評価しましょう。言葉でも、ふりかえりをしましょう。めあてと同じで、ノートに書いても、自分の心にしまっておいてもよいです。